## ７．　本時のねらい

既習事項である、十進位取り記数法の仕組みや相対的な数の見方を確認する活動を通して、１／１００の位の小数の加法は、０．０１を基にしたり、位ごとに計算したりすると、求められることに気付き、整数と同じように位を揃えて計算することができる。

## ８．　本時の学習展開（８／１２）

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|---|
| つかむ | **１．　問題の理解**<br>１．２３ｋｇの箱に、４．７５ｋｇのなしを入れます。<br>全体の重さは何ｋｇになるでしょう。<br><br>**２．　既習内容の確認**<br>小数の仕組みの確認をする。<br>【相対的な大きさ】<br>１．２３は０．０１の １２３こ分　　４．７５は０．０１の ４７５分<br><br>【十進位取り記数法の仕組み】<br>１．２３は　１の 1 こ分<br>０．１の 2 こ分<br>０．０１の 3 こ分<br>４．７５は　１の 4 こ分<br>０．１の 7 こ分<br>０．０１の 5 こ分<br>立式：１．２３　＋　４．７５<br>箱の重さとなしの重さを合わせたのが全体の重さであるから、たし算になる。 | 実態の見届け<br>小数の仕組み（十進位取り記数法の仕組みや相対的な大きさ）を確認することで、既習事項の定着状況を見届ける。<br>→①０．０１のいくつ分とみる見方の確認をする。<br>→②小数の各位における、単位とする数のいくつ分とみる見方の確認をする。<br><br>数直線を基に、立式の根拠を明らかにさせる。 |
| ／ | **３．　課題の設定**<br>１／１００の位の小数のたし算はどのように計算したらよいだろう。 | 学習状況の見届け<br>・小数の仕組みを基に手立てを考えさせる。<br>・３つの考え方を提示し、選択をさせる。<br>・①と②の考え方を選択した児童には、空欄になっている箇所に言葉や式などを書き込むようにする。<br>・③以外の考え方が持てたら、他の考え方に進むか、ミニ先生となるか選択させる。 |
| 考える | **４．　個人追究**<br>・上記の３つの考え方から選択し、自分の考えを書く。<br>①０．０１をもとにした見方　②それぞれの位をたす<br>③筆算で計算する<br>→１つ考えが持てたら他の考え方を書く。<br>① ０．０１をもとにした見方<br>１．２３は０．０１が１２３こ。<br>４．７５は０．０１が４７５こ<br>たすと、０．０１が５９８こ。<br>だから、５．９８<br>② それぞれの位をたす<br>一の位　１＋４＝５<br>１／１０の位　２＋７＝９<br>１／１００の位　３＋５＝８<br>だから、５．９８ | ・位ごとに計算することができない。<br>⇒位取りのヒントカードを活用させる。<br><br>・［③筆算で計算する］の考えしか持てない。<br>⇒板書の掲示を明示し、「小数の仕組みを基に考えてみたらどう？」と声をかける。<br><br>【評価規準】<br>１／１００の位の小数の計算の原理や手順を、小数の仕組みを基にして考えることができる。＜考え方＞ |
| ／ | **５．　全体交流**<br>・自分の考えを発表する。（３つの考え方を確認する。）<br>・それぞれの考え方のよさについて確認する。<br>・３つの考え方の似ているところを見付ける。<br>→位を揃えて計算し、和に小数点を書いている。<br><br>**６．　まとめ**<br>１／１００の位の小数のたし算は、小数点をそろえて、位ごとに計算すればよい。 | ・それぞれの考え方のよさを確認する。<br>［①　０．０１をもとにした見方］<br>→整数で考えることができる。<br><br>［②　それぞれの位をたす］<br>→１けたで計算することができる。<br><br>［③　筆算で計算する］<br>→位ごとに、素早く計算することができる。 |
| まとめる | **７．　評価問題**<br>２．４１　＋　１．２６　を計算しましょう。<br>→筆算で計算する。２．４１　＋　１．２６　＝　３．６７<br>**８．　練習問題**<br>チャレンジ問題　①３．５６　＋　４．３９<br>②３９．８　＋　２．７<br>レベルアップ問題　①７．２１５　＋　３．８９６<br>②０．５５２　＋　０．６５１ | 【重点１】<br>既習事項を基に数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える力を育てる。<br><br>定着状況の見届け<br>評価問題の取り組みと正答率で、定着状況を見届ける。 |